

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ

- 11月14日(金) 池内 光子さん ピアノ・アコーディオン演奏会
- 29日(火) 遠藤 美香さん フルート演奏会

中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非お越しください。12月になりまして、クリスマスのコンサートも企画しております。

北部病院公開講座のお知らせ

演題: 『冠動脈インターベンションについて』

『のどのがんのお話』 演題が変更となりました。

演者: 循環器センター 教授 落合正彦

耳鼻咽喉科 専任講師 門倉義幸

日時: 平成17年11月12日(土) 13:30~15:00 15:10~16:40

場所: 西棟4階診療放射線専門学校講堂

定員: 100名(定員となり次第受付終了となります)

応募方法: お電話もしくは往復はがきにて、お申込みください。

確認事項: 希望演題、住所、氏名、年齢、性別、連絡先の6項目。

注意事項: お葉書の型方は、返信面にご自身の住所のご記入をお忘れなくお願いいたします。

申込み受付期間: 平成17年10月17日(月)~

お問合せ先: 昭和大学横浜市北部病院公開講座担当 045-949-7000(代表)

院内掲示、区役所(都筑区・青葉区)掲示板にて公開講座募集要項(上記)を掲載しております。

1名さま1枚の葉書での申込みとなります。1枚に複数名のお名前を頂きました際は無効扱いとなります。

予めご了承ください。

休診のお知らせ

今年の休診日をお知らせいたします。正面玄関等にもご案内を掲示させていただきます。

11月15日(火) 昭和大学創立記念日のため

12月29日(木)~平成18年1月3日(火) 年末年始のため

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(= 進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
売店営業時間変更について	『売店の開店時間を早めて欲しい』とのご要望をいただきました。 営業開始時間を下記のように変更させていただきました。 【平日】 8:00~20:00 7:30~20:00 【土曜】 8:30~17:00 変更なし 【休日】 9:00~17:00 変更なし
予約・変更の電話について	『電話予約の番号に電話しても全く通じない。メールやFAXもなかなか返事が来ない。電話が一番便利なおですが、何曜日の何時にかけても全く通じず、結局予約が取れないことがある。ご検討願います。』とのご意見をいただきました。 ご指摘いただきました、予約センターの電話がつながりにくい、という点につきまして、現在、午後のみとなっている受付時間の拡張(拡充)を検討しています。 ご不便をお掛けし大変申し訳ございませんが、今しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。

編集後記

10月に入り夜が早く、長くなりました。暗い道を歩いていると突然の香に驚き周りの木々を探している自分に気がつきました。明るい夏は香りで驚くことはそれほどないのですが、暗闇では五感が研ぎ澄まされるのでしょうか。春の匂いの代表は梅でしょうか、夏は焼きサンマの匂い、そしてこの季節は金木犀、冬は街の焼きいものこげた匂いでしょう。茅ヶ崎中央公園わきの歩道を歩いていて、秋雨の中の金木犀の匂いにしばらく立ち止まってしまいました。寒さが気になりだすと外来は鼻炎、感冒が増えてきます。今年はインフルエンザが流行するかどうか分かりませんが、ワクチン接種を家族全員に言い渡しました。もちろん私もです。

広報委員会 委員 北澤 重孝

北部病院だより 第35号

平成17年10月31日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより

第35号

第35号【2005/10/15 発行】

発行者: 昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

『こどもの肥満と日本の将来』

こどもセンター 助教授 野中善治

イベント情報

大腸 c 研究会

ボランティアさんの紹介

医師の配属・異動・退職

診療統計

外来担当表

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサート日程

北部病院公開講座のお知らせ

患者様からのご意見・ご要望



すっかり秋めきましたね。

巻頭言

『こどもの肥満と日本の将来』



こどもセンター 助教授 野中 善治

生活習慣病が主流の時代になってみると、こどもの世界にもその波はひたひたと忍び寄ってきているのが痛切に感じられます。この40年ばかりの間に日本のこども達の環境は大きく変化しました。まず食事内容では魚以外の動物性脂肪の10倍以上増加、ファーストフードの浸透で代表され、さらに運動量の減少はテレビやゲーム、塾通い、遊び場の減少、同年代のこどもの減少、住宅の高層化、バギーの乱用、階段利用の減少などが背景になっています。どちらにせよスナック菓子、甘味飲料、牛乳などの過食、夜食習慣、早食いなどが最大の原因です。町を歩いている大人にもふた昔では想像もつかない重症肥満が目につきます。女子高校生や20,30歳代の男性に多いようです。ほとんどあきらめの境地と言えそうなくらいです。肥満自体が年々重症化している事実は文明国として恥ずかしいことです。喫煙や肥満自体が染色体のテロメア(細胞分裂能力の指標)の長さに影響し、寿命を縮めている事実は最近の報告です。肥満には合併疾患も多いため国民全体としてもかなりの損失が計算されます。

肥満の評価は治療に比べ簡単なのですが、こどもでは乳児から高校生までに体重と身長バランスが大きく変化するため成人のように行きません。ふつうの肥満度は標準体重の何パーセント増しかで表現しますが、6ヵ月未満と3歳以上では20%以上が肥満とされ、6ヵ月から3歳未満までは15%以上で肥満扱いです。

BMI(ボディ・マス・インデックス)はわかりやすい評価法で成人なら自分の身長をメートルに直して2乗した値を記憶しておき、それで体重(キログラム)を割ったものが25以上なら肥満となります。米国では30以上が本格的な肥満とされていますがかなり甘いようです。成人のBMI標準は22から23とされています。こどもでは乳児から幼児期に大きく変化するため用いにくいとされていましたが、標準体重・身長の表からあらかじめ算出しておいたものを用いれば簡単に利用できます。

こどものBMIは新生児が約13と最も低く、その後3ヵ月までに17まで上昇し、1歳まで横ばいの後、3歳まで下降し、5歳以後BMIは16から成長が止まるまで上昇し、21となります。複雑なようですが脂肪の付きやすい時期と成長速度の絡みと考えればよいでしょう。評価法としてBMIが標準より3ポイント以上重ければ肥満とします。

肥満のもつ不健康な部分を的確に評価するのが体脂肪率です。新生児は最も低いのですが、生まれたときに体重が大きい場合は胎内環境と遺伝子の問題となります。巨大児は身長も大きいのですが脂肪の量が多く、妊娠糖尿病が絡む例が多いようです。最近、インピーダンス法という簡便な方法で体重計に身長を入力して測定するのが家庭にも普及しています。4歳以上なら測定可能です。こどもでは標準値が十分確立していませんが皮下脂肪の厚みを目安にしながらいずれ男子で20%以上要注意、25%以上を肥満としています。女子では5%増しとし、BMIの低い年代では5%低めを標準にします。

肥満の背景にはいろいろありますが最近では肥満関連遺伝子(30%ほどが持っている)が話題になっています。肥満家系、糖尿病(遺伝子は日本人の30%弱に)家系にはいくつかの遺伝子が関係しているようです。いくら節食しても体重減少しにくい体質では、もともと基礎代謝(安静時の最低必要エネルギー)がふつうの人より5%ほど低いことが確認されています。1万年以上昔なら飢餓を生き延びるためには有利な遺伝子であったわけですが、現代生活では悪夢のエネルギー節約遺伝子です。5%といえば成人では1日で1000カロリーほどになり、1年間で体脂肪で5キログラムにもなってしまいます。この様な体質では有酸素運動を中心とした運動療法で体脂肪率を下げ、筋肉量を増やし、食事療法も厳しく行う必要があります。ただし肥満児に「食べるな」とは言うてはいけません。食べても良いものを探してあげる必要があります。私の肥満外来でも肥満度が40%から5%に正常化しても、体脂肪率が40%から25%までしか改善しない例がありますが、遺伝子的な背景が濃厚と言えそうです。

基礎代謝といえば乳幼児に比べ13歳児では50%、50歳では35%まで低下します。体重1Kgに対し60から21Kcal/日で減少するのです。この点を考慮すると、乳幼児期の肥満はよほどの過食か肥満体質とも言えるわけで、この時期の肥満が放置されてよいことにはなりません。

ダイエットの基本ですが、太った時期、きっかけをじっくり考えてみましょう。食べ過ぎの背景、内容、心理的背景を考慮し、どのくらいの目標がふさわしいかを考え、脂肪組織1キログラムが約7000カロリー(卵丼約10杯分!)に相当することを理解し、自分(母親)から食材と料理方法にこだわり、食事をゆっくり楽しみましょう。食事内容からカロリー計算・栄養バランスの評価ができることがこどものダイエットを含め前提条件とも言えます。食事の管理だけでなく、心理的ストレス管理が困難でも運動を始めることで解決しやすくなることもポイントです。また体重を毎日、朝と寝る前に計測し、グラフ化することの有効性は高いようです。

いろいろなダイエット法がありますが、重要なのは自分自身を変えていこうとする姿勢です。入院しても、脂肪分の吸収をブロックする薬を用いても、炭水化物あるいはインスリンダイエットを試みても、長期的に体重管理がうまくいくことがすべてです。また運動療法なしのダイエットでは、筋肉が減り、その結果、基礎代謝も低下し、リバウンドによりダイエット以前より悪い状態になってしまいます。こどもの肥満ではまず予防ですが、学校や幼稚園では指導してくれません。重症肥満で2型糖尿病を併発し、肥満によるいじめ・不登校などを抱えた例も見受けられます。こどもの肥満治療で難しい点といえば、成長期である点から重症肥満(肥満度50%以上)以外は減量しにくいため、時間をかけて肥満度を改善する必要があります。学童では授業のためや、母親が共働き家庭の場合、受診が難しくなります。こどもの治療に有利な点はなんといっても身長が伸びる点です。40%肥満でも3歳から11歳の女児なら1年間体重を維持するだけで22から29%まで改善します(30%肥満では、14から16%まで改善)。体脂肪率を見ながら肥満度正常化目指せばよいので、場合により体重増加速度の減速のみでいけることでもあります。残念ながら、小児科領域でも男女とも13歳以上で体脂肪率の高い肥満度40%以上では、いったん減量することが必須条件となり、よほどの覚悟・忍耐が必要とされるわけです。

現在の日本は肥満と糖尿病、癌と認知症との戦いが始まったばかりですが、生活習慣病を中高年のテーマとしていては遅すぎであり、現在の30歳代より若い世代に目を向けて行かないと、深刻な時代が待ちかまえていると覚悟しましょう。こどもの肥満管理を出発点にすることは、かなり長期的に見て、生活の質全体を向上・安定させるものであり、ひいては健康の自己管理能力の確立に寄与します。今現在、肥満がないこどもでも家族的背景から糖尿病や肥満関連の生活習慣病がちらつく場合はとくに運動量の多い生活を身につけていきます。あくまでも「過食に勝る、運動療法なし」を念頭に置きながら。

ボランティアさんの紹介

今回は西3階病棟を中心に活躍してくださっている学生ボランティアさんです。

山田 恵理さん

北部病院でボランティア活動を始めさせていただいてから、約1年になります。人の役に立ってみたいという思いから、大学の先生、病院スタッフの方々の様々な配慮の下で、週1回活動させて頂いております。わたしの活動は、病院にという慣れない環境という事もある、まずは外来で病院の様子を知ることから始まりました。場所の案内や車椅子の介助等、多くの方々と接触し、貴重な体験をすることができました。些細なことしかできませんでしたが、患者さまは「ありがとう」と笑顔で答えてくださったり、時には患者さまから「頑張ってるね」と声をかけてくださって、逆にわたしが励まされることが多かった気がします。

現在は西3階病棟で、患者さまの話し相手やラジオ体操のお手伝いをしています。活動を通じて気づかされることはたくさんありますが、私は特に、人に対する思いやりの心は重要であると感じました。1年以上経った今でも毎日が勉強です。少しでも患者さまに喜んでもらえるよう、病院であることを忘れず、責任感をもって頑張りたいと思います。



インフルエンザ予防接種について

インフルエンザ予防接種の開始のお知らせ

10月の初旬よりインフルエンザ予防注射の接種を開始しております。ご予約・詳細のお問合せは、初診窓口にておこなうか、予約センターへご連絡ください。なお、現在当院に受診されている方は、受診科にご相談下さい。

初診受付：電話番号：045-949-7150（平日13:00～16:00）

予約センター：電話番号：045-949-7489（平日13:00～17:00）

小児用(15歳以下のお子様)の予防接種のお問合せ・予約等は、小児科外来受付までお問い合わせください。小児科では、小児専用のワクチンを使用しております。ワクチンの数には限りがあります。ご希望される方はお早めにお手続きください。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師 10/11付【9/2～10/11】

【附属病院より】

石原 千尋

(リハ・リテーション科)

昭和大学病院

リハ・リテーション科より

真田 建史

(セクサリケアセンター)

昭和大学病院附属東病院

精神医学教室より

【他病院より】

福成 信博

(外科)

昭和大学

昭和59年度卒

三並 敦

(消化器センター)

信州大学

昭和63年度卒

橋本 雅彦

(消化器センター)

山口大学

平成元年度卒

島本 久美子

(耳鼻咽喉科)

川崎医科大学

平成7年度卒

磯村 直栄

(循環器センター)

防衛医科大学

平成10年度卒

異動・退職医師 9/30付【9/1～9/30】

【異動】

伊川 太郎 (メンタルケアセンター) 昭和大学病院附属東病院 精神医学教室へ)

飯田 輝代 (外科/形成外科担当) 昭和大学 形成外科学教室へ)

【退職】

南 和 (循環器センター) 出口 義雄 (消化器センター)

神山 一行 (リハビリテーション科)

診療統計

2005年8月統計データ ()内は1日平均

外来患者数 31,518人(1167.3人)、入院患者数 18,302人(590.4人)、救急車搬送件数 420人(13.5人)、手術件数 506件(22.0件)

2005年9月統計データ ()内は1日平均

外来患者数 30,167人(1257.0人)、入院患者数 16,990人(566.3人)、救急車搬送件数 369人(12.3人)、手術件数 444件(22.2件)

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

平成17年11月1日改訂

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器センター	医局員(初再診)	医局員(初診)	鹿間裕介(再診)	医局員(初診)	医局員(初診)	医局員(初診)	鹿間裕介(再診)	神尾義人(再診)	医局員(初診)	医局員(初診)	医局員(初診)	医局員(初診)
		笠原慶太(再診)	医局員(初診)		中神和清(再診)		笠原慶太(再診)	高宮有介(再診)	北見明彦(再診)	大塚和朗(再診)	大塚和朗(再診)	
	北見明彦(再)		中島宏昭(初)				医局員(初)	松田正典(再)	中島宏昭(再)	中島宏昭(再)		
消化器センター	医局員(初)	大塚和朗	田中淳一	辰川貴志子	請川淳一	請川淳一	井上晴洋	井上晴洋	大塚和朗	大塚和朗	土曜初診1	
	小林泰俊	小林泰俊	医局員		松下達彦	松下達彦	出口義雄	永田浩一	為我井芳郎		日高英二	
	春日井尚			加藤博久	医局員(初)		笠原慶太	笠原慶太	医局員(初)	鎮西 亮	里館 均	
	佐藤嘉高(第2,4週)	佐藤嘉高(第2,4週)	櫻田博史	櫻田博史	岩下方彰(第1)		医局員(初)	山村冬彦				
	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英	笠原慶太	石田文生	小鷹紀子	櫻田博史	新谷 隆	石田文生	石田文生	土曜初診2	
					三並 敦			工藤進英(特殊診)	三並 敦	三並 敦		
循環器センター	緒方信彦	中島邦喜	落合正彦		小原千明	岡田良晴	荒木 浩		芦田和博	加藤源太郎	医局員	
					大動脈外来					西巻博(第3)		
精神神経科(初診)	工藤行夫		吉益晴夫		秋元(1)		秋元洋一		西岡玄太郎		工藤謙太郎	
精神神経科(再診)	伊川太郎		秋元洋一		伊川(2-5)		吉益晴夫		工藤行夫		松丸憲太郎	
精神神経科(再診)	池澤 聡		鄭 英徹		西岡玄太郎		長井友子		青山 洋		小城幸乃	
精神神経科(再診)			医局員	松丸憲太郎(物忘れ外来)	山本英樹		伊藤謙太郎	松丸憲太郎(物忘れ外来)	医局員		医局員	
内科(緩和ケア)					工藤謙太郎		医局員		医局員		中村明央	
内科(23-2)	山田真帆(2,4)(内科消化器)				菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)			菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)	
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	高橋 健(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)		衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)			川崎仁志(内科神経)	医局員
内科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川童雄(内科消化器)	三代川童雄(内科消化器)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)			三代川童雄(内科消化器)
内科(25-1)	稗田宗太郎(内科神経)			中山文義(腎)(第1火休診)	稗田宗太郎(内科神経)	稗田宗太郎(内科神経)	滝西安陸(一般内科)					滝西安陸(内科一般)
内科(25-2)					木村 聡(内科・感染症)							医局員
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)			田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)	渡邊浩之(一般内科)
内科(25-5)	荻原 徹(糖尿病・内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)		荻原 徹(糖尿病・内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	荻原 徹(糖尿病・内分泌)	富田高重(第1)(内科消化器)	荻原 徹(糖尿病・内分泌)	
内科(25-6)	吉田典世(一般内科)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	吉田典世(一般内科)			緒方浩頭(内科腎臓)	緒方浩頭(内科腎臓)	三上哲弥(内科消化器)		緒方浩頭(内科腎臓)	
内科(25-7)		内田奈名子(一般内科)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)	内田奈名子(一般内科)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	辻 正富(糖尿病・内分泌)	
小児科	野中善治	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤重孝	心臓外来	野中善治	成育外来・乳児外来	梅田 陽	乳児検診	医局員	
小児科	曾我恭司	予防接種	曾我恭司	フォローアップ外来	梅田 陽	腎臓外来(1,3)	曾我恭司	口腔発達(2,3)	京田学是	フォローアップ外来	医局員	
小児科	高野忠将		野中善治	血液内科(4)	京田学是	心理相談	松岡 孝	心理相談	高野忠将	上村茂(心臓)	医局員	
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇)	真田 裕(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		濱口太造		島田洋子		濱口太造		宋 寅傑		医局員	
皮膚科(再16-1)	濱口太造	松村卓美	宋 寅傑	濱口太造	濱口太造	松村卓美	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	
皮膚科(再16-2)	佐々木雅美	外科手術	佐々木雅美	外科手術	佐々木雅美	外科手術		外科手術	佐々木雅美	外科手術	医局員	
皮膚科(再16-2)	松村卓美		松村卓美				松村卓美		松村卓美			
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成		中村明央		中村(奇)	新井・山崎(偶)
外科			福成信博		山崎智己			井関雅一(偶)	福成信博	岩波正英(偶)	黒井克昌(偶十のみ)	
形成外科	大塚尚治	美容外科	山本真理子		神崎温子	ヒールリング'外来	[手術日]		大塚尚治		大塚(奇)	神崎(偶)
脳神経外科(初再診)	池田尚人	(診断書外来)	医局員		池田尚人	退院後外来	飯田昌孝		池田尚人		飯田昌孝	池田尚人(偶)
脳神経外科(再診)			池田尚人	飯田昌孝							池田尚人(奇)	
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員	
整形外科	松久孝行	ギプス診予約のみ	古梶正洋		松久孝行	ギプス診予約のみ	古梶正洋		定方博史		医局員	
整形外科	川崎恵吉		齋藤 元		定方博史		川崎恵吉		齋藤 元			
産婦人科(初診12-7)	鈴木紀雄(奇)	安藤直子(偶)	高橋 諄(刈谷瑞穂)		高橋 諄(御子柴尚郎)		小塚和人(近藤哲郎)		小川公一		医局員	
産婦人科(産科12-1)	近藤哲郎		小川公一		栗城亜具里		安藤直子		鈴木紀雄			
産婦人科(産科12-6)	高橋 諄(刈谷瑞穂)			特殊診予約のみ			御子柴尚郎				特殊診予約のみ	
産婦人科(産科12-8)	小川公一		鈴木紀雄	特殊診予約のみ	近藤哲郎		高橋 諄		安藤直子	特殊診予約のみ	医局員	
産婦人科(産科12-6)			刈谷瑞穂		御子柴尚郎				栗城亜具里			
泌尿器科(初診11-1)	佐々木春明	椎木(検査)予約のみ	椎木一彦		深澤 立	深澤(検査)予約のみ	青木慶一郎	鈴木俊一(再診)	島田 誠	菅原 草(再診)		
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来)予約のみ	深澤 立		青木慶一郎	青木(検査)予約のみ	椎木一彦	麻生太行	佐々木春明	佐々木春明(男性外来予約)	医局員	(初再診)
泌尿器科(検査11-5)		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		
眼科	玉井裕子	特殊診(玉井)	小池正直	特殊診(紀平)	玉井裕子		小池正直	特殊診(小池)	玉井裕子		小池正直(奇)	中村 徹(偶)
眼科	中村 徹		中村 徹	特殊診(小倉)	小倉寛嗣		小倉寛嗣	特殊診(小倉)	中村 徹	特殊診(中村)	玉井裕子(奇)	岡田法子(奇)
眼科	岡田法子	特殊診(岡田)	岡田法子	特殊診(岡田)			岡田法子	特殊診(岡田)	小倉寛嗣		小倉寛嗣(偶)	
耳鼻咽喉科13-2	門倉義幸(初診)	腫瘍甲狀腺外来予約のみ	石田 良(初診)		医局員(初診)	東洋医学外来予約のみ	柳/徳丸(初診)	いびき外来予約のみ	医局員(初診)		医局員(初診)	
耳鼻咽喉科13-2	徳丸岳志(再診)			レザ-外来予約のみ			門倉義幸(再診)					
耳鼻咽喉科13-3	柳裕一郎(再診)		柳裕一郎	小児外来予約のみ			石田 良(再診)					
耳鼻咽喉科13-5	油井健史(再診)							補聴器外来K予約のみ		補聴器外来N予約のみ	歯科装具予約のみ	

放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤憲二医師です。
リハビリ科外来日は、 火曜日午後： 真野英寿医師です。